

広川町立図書館へ行こう!

☎ 広川町立図書館 ☎ 0943-32-1163



■ 今月のおすすめの本



世界 - 夢の映画旅行
バイインターナショナル / 編著
バイインターナショナル



できますか? 教えられるか?
家庭科の基本
流田直 / 監修
学研教育みらい



**別冊うかたま
魚のおかず**
農山漁村文化協会



**ミニマリスト
スマホの中を片付ける**
飯島彩香 / 著
KADOKAWA



**文芸
博多なぞなぞ**
保坂晃孝 / 著
西日本新聞社



縁結びカッサンド
冬森灯 / 著
ポプラ社



**ネットとSNSを
安全に使いこなす方法**
ルーイ・ストウェル / 著
東京書籍



**11歳のバースデー
ぼくらのスマイルリップ**
井上林子 / 作
くもん出版



おかたづけ
うえだしげこ / さく・え
バイインターナショナル



**まどべにならんだ
五つのおもちゃ**
ケビン・ヘンクス / 作・絵
徳間書店

■ 新年お年玉企画

期間中に資料を借りた人へ、雑誌付録のカレンダーや手帳などをプレゼント!

- 期間 1月5日(火)～ [なくなり次第終了]
- 対象 町立図書館で本・CD/DVD・雑誌を借りた中学生以上 (一人一回限り)

■ LINEで図書館の最新情報をGET!

イベントや開館状況など、図書館の最新情報をLINEで配信しています。



[ID] @841lwdcq

■ 12月のおはなし会 [場所・読み手]

- 5日(土) 10:30～11:00
児童向け [お話しの森・きらら]
- 9日(水) 10:30～11:00
乳幼児向け「かっちゃんこ」
[お話しの森・絵本コンシェルジュ]
- 20日(日) 10:30～11:00
児童向け
[お話しの森・たまたまばこ]

例年12月に開催していた「図書館冬まつり」は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

やっぱり図書館へ行こう!

vol.18 一度に借りられる冊数

図書館の様子や仕組みをお伝えします

皆さんは図書館で本を借りるとき、一度に何点まで借りられるかご存じですか? 通常は本・CD/DVD・雑誌あわせて10点までですが、現在は新型コロナウイルス対策として、なんと20点まで借りることができます(CD/DVD・雑誌はそれぞれ10点まで)。しかも、貸出期間も通常の2週間から、4週間と長くなっています。

今の機会を活かして本に親しみませんか? ぜひ町立図書館へ行きましょう。

■ 12月の休館日

- 3日(木)・7日(月)・14日(月)・21日(月)・28日(月)
年末年始: 29日(火)～1月3日(日)
- 毎週(月)・第1(木)が休館、(月)が祝祭日の場合は翌日以降の直近の平日が休館

広川町の 学校教育

授業や子どもたちの様子を
公開しました

学校訪問

教育委員会が、子どもたちの様子や学校の運営・設備の状況などを確認し、今後の学校経営に活かす「学校訪問」。例年5〜6月ごろに行われていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で、10月〜11月に行われました。10月に訪問した下広川小学校・上広川小学校・広川中学校の様子を紹介します。



10/15 木 下広川小学校

どのクラスも棚や掲示物などが整理整頓されており、集中して学習できる環境が整えられていました。児童の学習に対する姿勢も意欲的で、腕をまっすぐ伸ばして挙手していました。

2年1組の「きいろいベンチ」という教材をつかった道徳の授業では、「約束や決まりを守り、みんなが使うものを大切にすること」を学習。場面ごとに葛藤する主人公の気持ちを、赤と青の円盤を使って目に見える形で表していました。



10/16 金 上広川小学校

特に図書館教育に力を入れている上広川小学校では、校内のいたる所で読書に関する掲示物が見られました。

3年い組の「一輪車に乗れた」という教材をつかった道徳の授業では、「目標を達成するためには、やろうと決めたことを粘り強く努力することが大切である」ことを学習。失敗したときの心を色で表し、その理由を発表し合っていました。

10/22 木 広川中学校

2年2組の「古典に学ぶ"平家物語"」という教材をつかった国語の授業では、CDを聞いた後、全員、個人、ペアの順で音読していました。

コロナ禍で部活動の時間が十分確保できない中、生徒たちは練習内容を工夫し、集中して活動に取り組んでいます。女子陸上部は、10月24日(土)に行われた中体連の新人駅伝大会筑後地区大会で20年ぶりに優勝し、県大会に出場しました。



お問い合わせ

教育委員会事務局
学校教育係

☎ 0943-32-0093

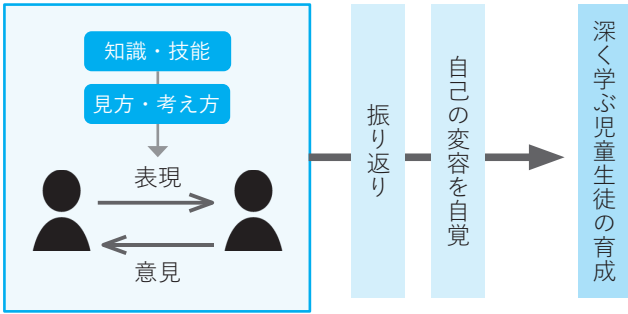
内線 262・263

福岡県重点課題研究指定・
委嘱校中間報告会

11月5日(木)、広川中学校で福岡県重点課題研究指定・委嘱校の中間報告会が行われました。

「福岡県重点課題研究指定・委嘱校」とは、福岡県が抱える教育課題について研究する学校のこと。広川町では昨年度から、中広川小学校と広川中学校が連携して、「深く学ぶ児童生徒の育成」の研究に取り組んでいます。

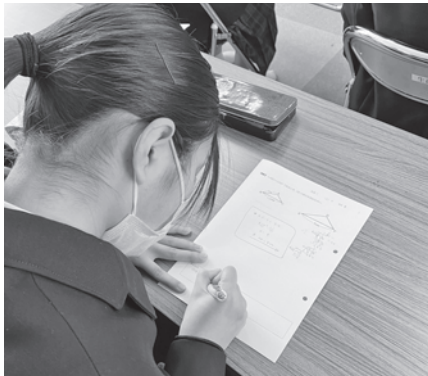
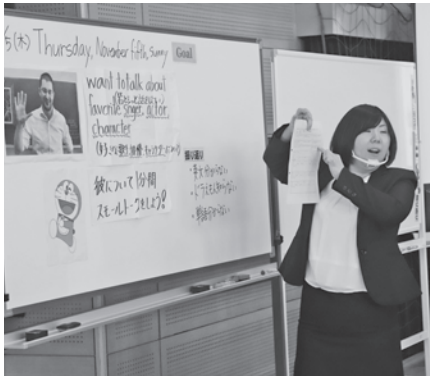
2校では、これまで得た知



1年生	英語 オーストラリアの兄	相手に自分以外の人を紹介する学習で、ビデオを使ったりその人のイメージを図に表したりしながら会話をしました。
2年生	理科 電流と回路	教師が作った実験器具を使って、子どもたちに実験の見本を見せながら学習しました。
3年生	数学 図形と相似	教師が作った学習プリントなどを使って、自分の考えを出し合いました。

識・技能や見方・考え方をを使い、他者と対話することで、新たな知識・技能や見方・考え方を身につけさせる授業を行っています。これらの活動を振り返ることで、子どもたちは自己の変容に気づき、さらに学びを深めることがねらいです。

これまでの中間報告会では、町内すべての小中学校が授業を公開していましたが、今年は中学校の各学年1学級のみ公開。県の教育委員会・教育センター、南筑後教育事務所などが参観しました。



参観者コメント

本重点課題専門委員
福岡教育大学教職大学院
主税保徳 教授



公開された3学級とも、先生と生徒のコミュニケーションがよくとれていました。実験器具やプリントなど、それぞれの教師が工夫を凝らした教材も準備されていました。授業には2つの「ま」が有効的に使われています。1つは待つ「ま」。子どもたちの考えを十分に引き出すために、回答をせかすことのない応答ができていました。もう1つは任せる「ま」。生徒の主体性に任せる活動がいたるところで見られました。今後は研究の目標や内容を学校だけではなく、保護者、地域にも共有して、さらなる研究の発展を期待しています。